

電子的未公開論文一覧

Library Science

No.1

- 井出翁. 大学図書館におけるレファレンス機能の構造的諸要素の分析, p. 21-32.
Brodman, Estelle. 科学文献利用の諸態, p. 33-38.
渡辺茂男. 司書教諭論, p. 39-56.
北島武彦. 戦後日本のおもな読書調査について—その系譜と類型に関する比較研究, p. 57-84.
河野徳吉. 図書館における通信の応用—IDP と電信機械の応用, p. 85-91.
中村初雄. 総合目録の問題点 (I), p. 93-106.
藤川正信. 主題探索の基本問題 (I), p. 107-125.
吉井和子. 合衆国海外情報センターの性格—図書館活動を中心として, p. 127-154.
梶井知子. 大学図書館におけるリザーブ・ブック制度, p. 155-163.

No.2

- 澤本孝久. 戦後におけるわが国の大学図書館の発達, p. 1-12.
堀内郁子. 大学図書館蔵書論, p. 13-23.
中村初雄. 総合目録評価試論—総合目録の問題点 (II), p. 25-49.
Strout, Ruth French. 目録法教育—シカゴ大学における実際, p. 51-63.
澤本孝久. 米国の大学におけるドキュメンテーション教育, p. 65-76.
渡辺茂男. 児童図書の領域区分と分類, p. 77-91.
須賀紀代子. 公共図書館の団体貸出, p. 93-107.
津田良成. 北里記念医学図書館に於ける雑誌の利用調査, p. 119-157.
藤川正信. 文献探索における論理の問題—主題探索の基本問題 (II), p. 159-172.

No.3

- Blanchard, J. R. 加州大学図書館の発展と機械化, p. 1-8.
Bonn, George S. 科学ドキュメンタリストの教育について, p. 9-17.
Brodman, Estelle., & Gough, Chester R. 米国の医学・大学図書館における電子計算機の利用状況—1964年現在, p. 19-39.
Cheney, Frances Neel. 英米文学のレファレンス・サービス, p. 41-47.
Focke, Helen M. ウェスタン・リザーヴ大学におけるドキュメンテーション教育, p. 49-57.
Hunt, Hannah. 青少年と図書館—危機か前進か, p. 59-69.
Larson, Edgar R. 電子計算機による技術報告の検索—米国海軍大学院における, p. 71-80.

- Lohrer, Alice. 今日の要求をみたすアメリカの学校図書館, p. 81-90.
- Lyle, Guy R. 米国南部大学等基準協会の自己調査制度と大学図書館, p. 91-96.
- Moore, Everett T. 米国の大学図書館革新, p. 97-105.
- Sawamoto, Takahisa. 日本の農学系図書館, p. 107-119.
- Sealoff, Georgia. 学校図書館は資料センターたりうるや—その推移の様相, p. 121-126.
- Smith, Anne M. 主要書誌における社会科学関係雑誌の収録頻度, p. 127-134.
- Strout, Ruth French. カタローガーの任務の探究, p. 135-141.
- Turner, Mabel. 米国学校図書館の発展と全国基準, p. 143-150.
- Watanabe, Shigeo. 戦後日本児童文学の動向, p. 151-165.
- 阿部隆一. 「聖徳太子平氏伝雑勘文」「上宮太子拾遺記」引書(漢籍)索引並証注, p. 167-179.
- 安西郁夫. 主要一般分類法における文化人類学の位置, p. 181-190.
- 藤川正信. 文献探索における意味の問題, p. 191-220.
- 浜田敏郎. 件名構成の一試案—船舶の種類名を中心として, p. 221-228.
- 堀内郁子. 現代の図書館目録とカタローガーの教育について, p. 229-237.
- 増山武彦. 特許文献とユニタームの利用, p. 239-266.
- 中村初雄. 資料組織教授法の変遷—アメリカの図書館学校を中心として, p. 281-296.
- 津田良成. 館外貸出要求に応じられなかった雑誌及びその理由の調査, p. 297-313.

No.4

- 平山健三. 情報検索の問題点と対策, p. 1-16.
- 緒方良彦. 自動抄録法の問題点, p. 17-28.
- 藤川正信. シソーラスの特性と利用, p. 29-42.
- 沢本孝久. 情報システムとその管理機能の問題, p. 43-62.
- 津田良成. 医学図書館に於ける文献情報探索サービスとその限界, p. 63-88.
- 中村初雄. ドイツに於ける図書館学教育—ケルン図書館学校での目録法授業, p. 89-106.
- 渡辺茂男. 明治期に於ける公共図書館, p. 107-120.
- 丸山信. ヨーロッパ学術図書館事情—納本制度の史的展望, p. 121-132.
- 堀内郁子. ハンガリーの図書館事情, p. 133-154.
- 中村経子. 参考図書出版の統計的調査, p. 155-172.
- 安西郁夫. 雑誌論文引用形式の簡略化, p. 173-180.
- 金子豊. 国文学における用語索引のありかた, p. 181-200.
- 浜田敏郎. 索引分析の効用についての考察—放送関係を例として, p. 201-215.

No.5

- 藤川正信. 語の連合と概念の連合, p. 13-42.
- 安西郁夫. 引用文献の計量的分析—文化人類学, p. 43-72.

- 浜田敏郎. 題名分析に現われた特性, p. 73-88.
- 中村初雄, & Panizzi, Jewett. Cutter の目録規則と要語索引の概念, p. 89-106.
- 坂井伊都子. 化学抄録誌におけるタイム・ラグの調査, p. 127-136.
- 澤本孝久. 科学技術者の研究情報利用調査, p. 137-152.
- 津田良成. MEDLARS への協力とその利用, p. 153-170.
- 石川清治. 教師の学校図書館観の分析, p. 171-184.
- 渡辺茂男, 中野訓枝, & 岡貴子. 日本の児童図書賞, p. 185-202.
- 渡辺茂男, 児童図書館の現状, p. 203-210.

Library and Information Science

No.6

- 津田良成. 医学情報の全国的ネットワーク, p. 1-26.
- 堀内郁子. MARC Project その背景と概要, p. 27-38.
- 亀水富美子. 北里記念医学図書館に於ける洋雑誌利用調査, p. 53-71.
- 渡辺茂男. 児童図書研究シラバス I — 児童の発達課題・絵本・伝承文学, p. 73-93.
- 金子豊. 国語辞書方法論, p. 95-114.
- 浜田敏郎. 題名分析法による検索語基礎設計の応用性について—二つの分野への適用結果の比較から, p. 123-154.
- 安西郁夫. 2 数的組による主題標目の構成, p. 155-161.
- 中村初雄. 情報検索システムの比較評価法について—Aslib-Cranfield Project の意義, p. 163-178.
- 澤本孝久. わが国の大学図書館組織の比較研究, p. 179-204.

No.7

- 津田良成. 医学図書館の評価について, p. 1-17.
- 中村初雄. IFLA 目録原則国際会議以後の経過の一断面—M. Gorman 報告を中心に, p. 49-58.
- 堀内郁子. 英米目録規則について, p. 59-66.
- 渡辺茂男. 児童図書研究シラバス II — ファンタジー, p. 67-78.
- 浜田敏郎. 題名とその用語の特性—題名分析法の観点から, p. 79-85.
- 金子豊. 用例—国語大辞書的前提, p. 87-107.
- 安西郁夫. 電子計算機による文字列の処理—基本的技法と応用, p. 109-116.
- 澤本孝久. 全国的科学技術情報ネットワークの進展をめざして, p. 149-173.

No.8

- 北原圀彦. 明治・大正期におけるレファレンス・ワークの発展, p. 17-49.
- 中村千里. 農学分野における文献利用調査の展望と citation counting の展開, p. 51-70.

- 中村初雄. 標準書誌記述と統一目録規則について, p. 71-82.
Carnovsky, Ruth French. 文献への主題接近—その歴史的発展, p. 83-91.
安西郁夫. 索引の自動化システム MISA, p. 101-121.
津田良成. 医学情報センターへの変貌, p. 139-156.
澤本孝久. リザーヴ・ブック・システムと指定図書制度, p. 157-181.

No.9

- 澤本孝久. 慶應義塾大学図書館情報学科—その過去, 現在, 将来, p. 11-23.
Ranganathan, S. R. 図書館業務—その中枢, 基礎および目的, p. 25-37.
Shores, Louis. 図書館学の理念, p. 39-48.
Mohrhardt, Foster E. 図書館専門職の国際的性格, p. 49-52.
Danton, J. Periam. 第二次大戦後の図書館学教育の普及, p. 53-60.
Reed, Sarah R. 図書館学教育に対する財団の援助, p. 61-83.
Stevens, Robert D. 米国の大学院図書館学研究科で学んだ日本の図書館人, p. 85-95.
Fahs, Charles B. 一教授として大学図書館をどう見るべきか, p. 97-100.
Shilling, Charles W. 科学者と科学図書館と一般の人びと, p. 101-104.
Brodman, Estelle. 図書館人としての科学者—歴史的展望, p. 105-113.
Bonn, George S. 図書館の自己調査, p. 115-121.
Cornish, R. D. 図書館, 図書館員と社会, p. 123-131.
Havard-Williams, P. アイルランドの図書館—過去からの教訓と将来への提言, p. 133-142.
鈴木平八郎. 国立国会図書館—発展途上の諸問題, p. 143-152.
Lyle, Guy R. 60年代における米国の学術図書館, p. 153-160.
Welch, Theodore F. 日本における USIS 図書館—1970年代に対処する新しいシステム, p. 169-178.
河井弘. チェックリストによる公共図書館蔵書分析評価法, p. 179-207.
小河内芳子. 資料 東京の児童図書館, p. 209-229.
Lohrer, Alice. メディア・センター (学校図書館) に及ぼす個別学習化の影響, p. 231-243.
長倉美恵子. 学校図書館管理運営組織の比較研究, p. 245-260.
渡辺茂男. 日本の絵本の歴史的背景, p. 261-270.
Carnovsky, Ruth French. 英米目録規則の第3条および第4条に関する覚え書, p. 271-275.
Cheney, Frances Neel. 参考・書誌科目の教育—その位置づけと試み, p. 277-286.
平山健三, & 中俣茂樹. 二次情報誌の一評価法, p. 301-308.
松村多美子. ランカスターのメドラーズ実績評価を通して見たメドラーズの検索法および索引語, p. 309-328.
Moore, Everett T. 米国の収書・目録国家計画—70年代初期の展望, p. 337-342.
津田良成. 医学情報ネットワークと日本医学図書館協会, p. 343-359.

- Parker, Dorothy. 科学技術情報サービスの展望, p. 361-369.
- 堀内郁子. 図書館・情報学関係団体, p. 371-379.
- 前嶋正子. 書誌調整の歴史, p. 381-407.
- 高橋達郎. オンライン文献情報検索システムの動向, p. 409-426.
- 菊池敏典. 二次情報ファイルにおけるキーワードの自動変換, p. 427-438.
- 中村幸雄. 短い試料における言語の判定法—計量的言語研究の一方法, p. 459-481.
- 小林胖. 「学術用語集・図書館学編」における分類学用語の考察, p. 483-494.
- 萩昌朗, & 秋山忠弥. 写真映像の主題分析とその抽出パターンに関する実験, p. 495-509.
- 浜田敏郎. 題名中の付属語を介して中心語に関連する語の分析によるカテゴリーの作成, p. 511-519.
- 佐々木敏雄. 生物・環境・情報, p. 521-531.

No.10

- 小林胖. 大学院カリキュラムの改訂とその将来への投影, p. 13-18.
- 津田良成. 医学図書館員の教育, p. 19-36.
- 渡辺茂男. イギリスにおける図書館学教育の現状, p. 37-60.
- 中村幸雄. 日本における情報ネットワーク—NIST の発展, p. 61-71.
- 大越朝子. 統計から見た学校図書館, p. 73-80.
- 田辺広. 大規模大学における中央図書館の問題—東京大学総合図書館を中心として, p. 93-107.
- 森園繁. 米国メリーランド大学図書館業務の機械化—貸出業務を中心に, p. 109-118.
- 中島紘一. 不可能との闘い—慶應義塾大学工学部図書館のこれまでの歩み, p. 119-142.
- 裏田和夫. 「医学雑誌総合目録」編集の機械化システム, p. 143-167.
- 堀内郁子. チャールス・エイミイ・カッター, p. 187-194.

No.11

- 図書館・情報学科カリキュラム委員会. 慶應義塾大学図書館・情報学科のカリキュラムの現状, p. 1-62.
- Staveley, Ronald. 英国の図書館学教育について, p. 63-71.
- 丸山昭二郎. 図書館・情報学教育と国立図書館における職員研修, p. 83-88.
- 柿沼隆志. 日本における学校図書館専門職員の諸問題, p. 89-103.
- 鈴木紀代子. 学校図書館専門職員養成に望む, p. 105-111.

No.12

- Wert, Lucille M. 米国図書館学校における研究, p. 1-10.
- Staveley, Ronald. 日本の図書館・情報学教育に関する印象—昭和 48 年, p. 11-14.

- Humphreys, K. W. 日本の大学図書館について一報告, p. 15-30.
鈴木平八郎. ハンフリーズ報告に対して一言, p. 31-34.
Humphreys, K. W. ナショナル・ライブラリーのサービスの優先順位, p. 35-36.
Vosper, Robert. イギリスにおける図書館員教育の変貌, p. 37-42.
Welch, Theodore F. 地域開発に関する情報システムについて一国際連合地域開発センターの場合, p. 43-50.
Staveley, Ronald. 日本の図書館・情報サービスの改革案に対する感想, p. 51-55.
津田良成. 医療情報サービスと文献情報, p. 57-70.
安西郁夫. 検索実例から見た MEDLINE の機能, p. 71-79.
原田勝. ビブリオメトリクスの方法とその応用, p. 109-141.
堀内郁子. メルヴィル・デューイ, p. 143-153.
吉村典夫, & 五十嵐瞳. 検索式のインデックスの数と検索される課題数との相関一研究課題検索システム (REGISTER) における実験, p. 155-175.
中村幸雄. NIST に伴う専門家養成の問題, p. 177-182.
長尾公司. 九州大学新中央図書館建設の経緯, p. 183-209.
東田全義. 研究情報利用行動の概念, p. 231-242.
森川夏子. 文献探索プロセスにおける適合性判定の実験的研究, p. 259-274.
図書館・情報学科カリキュラム委員会. 慶應義塾大学図書館・情報学科のカリキュラムの現状 (完) , p. 275-297.

No.13

- 佐藤貞司. ライブラリー・カレッジ覚え書, p. 1-11.
深川恒喜. 学校図書館法の発達史試論, p. 13-30.
寺崎実. 企業内情報管理に関する若干の考察, p. 31-45.
小林胖. 目録における漢字取扱いの問題点, p. 47-66.
中村初雄. 標目試稿, p. 67-88.
安西郁夫. 逐次刊行物所蔵リスト作成システム, p. 89-96.
津田良成. 日本における医学文献情報サービス, p. 109-123.
友光はるみ. 子宮頸部異型上皮研究における informal-formal communication, p. 125-142.
宮野協子. 医学図書館の評価方法一Orr の方法再考, p. 143-159.
白石克. 慶應義塾図書館所蔵英語辞書解題一江戸末一明治 10 年, p. 161-182.
源昌久. 志賀重昂の地理学一書誌学的調査, p. 183-204.
河尻順子. 公共図書館児童室の図書選択の現状と問題点一東京都内の場合, p. 205-231.
原田勝. 科学情報論序説一科学の社会システムと科学情報, p. 233-246.
澤本孝久. 慶應義塾大学図書館・情報学科のカリキュラム改訂および新設博士課程一経過報告, p. 247-260.

No.14

- 鈴木平八郎. 図書館情報サービスの全国計画と国立国会図書館, p. 1-14.
- 中井浩. 米国における情報政策とその社会的背景, p. 15-22.
- 飯田賢一. 情報論の先駆者としての福沢諭吉—「民情一新」をめぐって, p. 23-28.
- Gardner, Kenneth B. 英国の図書館における日本コレクション, p. 29-35.
- 中村初雄. 総合目録編成試稿, p. 37-54.
- 小林胖. デュイーおよび日本十進分類法の「地理区分」, p. 55-69.
- 安倍浩二. シソーラスの問題点, p. 71-94.
- 中村幸雄. 用語システムと分類システム—TOCS 原則の応用, p. 95-106.
- 根岸正光, & 山本毅雄, 化学文献における日本人名のローマ字化, p. 107-114.
- 朝比奈大作. 学術研究とプロフェッショナル・レファレンス・ライブラリアン, p. 115-128.
- 津田良成. Bibliography of Medical Reviews に載った日本のレビュー文献, p. 129-144.
- 林美里. マンガンの人体影響に関する研究者間の非公式コミュニケーション, p. 145-170.
- 久保田昭子. 慶應義塾大学文学部図書館・情報学科学生の文献利用調査, p. 193-209.
- 鈴木博道, 齊藤孝, システムリード型の医療情報検索システム, p. 229-250.
- 河島裕子, & 本田品子. 小規模図書館におけるコンピューターによる事務処理—国立がんセンター図書館の例, p. 251-264.
- 関篤. 東京工業大学附属図書館—その建築と機能, p. 265-282.
- 葉袋秀樹. 公共図書館における規模の経済性試論, p. 283-309.
- 前園主計. 専門図書館の定義, p. 325-337.
- 荻昌朗. フィルム・アーカイブ論, p. 355-368.
- 大橋紀子. 子供のための百科事典の評価, p. 369-388.

No.15

- 津田良成. わが国における研究者間の非公式コミュニケーションに関する研究の動き, p. 15-27.
- 是友等子. 農学系研究者の情報要求—農林省畜産試験場および家畜衛生試験場の調査を基にして, p. 29-48.
- 菊池しづ子. 大学図書館における主題専門図書館員, p. 85-95.
- 浅野次郎. 国立大学図書館機械化のあゆみ—図書館機械化調査研究班の活動を中心に, p. 97-105.
- 藤野幸雄. ブリティッシュ・ライブラリー論, p. 121-128.
- 末続義治. 図書選択についての覚え書き, p. 129-137.
- 加藤徳義. 自動索引の動向と逆説的アプローチ, p. 165-180.
- 中村初雄. 同定・識別についての一面—NDC 新版索引作業から, p. 189-195.

No.16

- Staveley, Ronald. 日英両国における図書館・書誌サービスに対する感想, p. 1-18.
- 岡沢和世. 見えざる大学—日本の政治学者の情報伝播, p. 19-48.
- 津田良成. わが国の図書館・情報学教育で使用されている教科書および参考書, p. 93-114.
- 斎藤潤子. 病院図書室サービスのネットワーク, p. 163-184.
- 井上如. 読書の手段としての索引—「仏像一心と形」索引作成の一事例, p. 197-215.
- 小林胖. 「日本目録規則 新版 予備版」の表現についての疑義, p. 217-251.
- 加藤孝明, 石黒敦子, 宮入暁子, 並木和子, 池田久子, & 佐藤けさ穂. 私立大学における女性図書館員の就業意識調査, p. 253-280.

No.17

- Gitler, Robert L. アメリカ図書館界の潮流, p. 1-10.
- 渡部満彦. オンライン分担目録作業の実際—OCLC, Inc.の事例から, p. 33-50.
- 岡沢和世. 研究活動に占めるインフォーマル・コミュニケーションの位置とその研究動向, p. 51-65.
- 館田鶴子, 岡沢和世, & 津田良成. わが国の知覚心理学者間の非公式コミュニケーション, p. 67-92.
- 宮本定明, & 中山和彦. 引用傾向の類似性に基づく文献クラスタリングの一手法, p. 93-102.
- 河上耕三, & 小林胖. カード目録利用の動態観測—間歇撮影法の得失, p. 213-221.

No.18

- 牧村正史, 上田修一, & 中山和彦. MARC ファイルの統合とオンライン目録用データベース化, p. 59-76.
- 岡沢和世. 行政情報総合ネットワーク構想—中央行政機関の情報利用調査から, p. 103-122.
- 三輪真木子, 上田修一, & 中山和彦. 社会科学雑誌引用文献の特色—SSCI 1972 年と 1977 年の比較, p. 141-155.
- 宮本定明, & 中山和彦. 引用分析の方法と環境土木工学雑誌への応用, p. 157-169.

No.19

- 津田良成, & 宮治規子. 最近の英米の図書館・情報学関係主要図書の書評による調査, p. 1-19.
- 岡澤和世, & 富田裕子. User Study の方法論—調査方法の比較, p. 37-54.
- 小林玲子. 児童のための読書施設のあり方—読書と読書施設に関する意識調査から, p. 117-134.
- 小林真理. メロディーによる索引の改善に関する考察, p. 135-150.

藤川俊三, & 中山和彦. 実験動物情報からみた医学研究の動向および動物索引の Exhaustivity, p. 151-168.

田中功, & 梅村弘行. COMPENDEX に収録された 1 次資料の我が国における入手可能性, p. 199-210.

吉村典夫. 要素技術連関解析とその農学分野への応用, p. 211-227.

No.20

小林道子. 利用者のニーズと図書館サービス—日本の病院図書室と医学図書館との比較, p. 1-25.

石井弘. オンライン・システムの利用者に対する教育・訓練—講習のあり方を中心に, p. 91-103.

No.21

大津潔. 日本の自然科学と社会科学文献のビブリオメトリック的研究, p. 19-27.

岡澤和世. 人文科学者の情報の要求と利用—人文科学分野対象の調査のレビューを中心に, p. 29-48.

吉村直子, & 上田修一. わが国の大学図書館の推移 1965-1980—168 大学図書館の統計の分析, p. 103-119.

大井紘, 猪爪京子, 坂下和恵, & 増田啓子. 研究機関における購入雑誌の一決定方式—国立公害研究所における方式, p. 121-130.

松山典子. 我が国の医療情報の伝達と収集における製薬企業の医療情報担当者の役割と機能, p. 131-148.

鈴木雅子. カルテの傷病名検索の特色と検索システムの要件—医学文献検索との比較, p. 149-167.

青島なな子, 中山和彦, & 上田修一. 図書書誌レコードの重複同定方法—LC MARC と筑波大学附属図書館洋書所蔵ファイル为例として, p. 169-180.

後藤智範. 索引過程における認知構造, p. 209-226.

No.22

松本浩一, 宮本定明, 中山和彦, & 星野聰. 漢文資料の計量的分析—「黄帝陰符経」の註を対象として, p. 1-10.

細野公男, & 赤羽鈴子. 情報検索サービスの利用コストと利用料金に関する一考察, p. 11-29.

伊藤可恵, & 上田修一. 美術シソーラスの問題点—シソーラスの試作とその検討, p. 47-60.

須加井澄子. 情報の圧縮化—言語学分野におけるメディアの性質为例として, p. 99-118.

杉本由利子. 先進主要国の科学技術情報政策書の比較, p. 143-159.

岡千穂美. 専門的情報のポピュラリゼーション—「血圧」文献を例とした内容分析, p. 161-170.

No.23

杉原寛子. 抄録作成者の情報処理—抄録作成におけるマクロルールの役割, p. 63-75.

杉本由利子. OECD, EC, UNESCO の情報政策書の比較, p. 77-91.

斎藤憲一郎, 吉川智江, 小川治之, 金子昌嗣, 逸村裕, & 緑川信之. 引用文献からみた理工学分野における文献利用の特徴, p. 125-135.

岡千穂美, & 緑川信之. 栄養学のポピュラリゼーション—ビタミンを例として, p. 149-163.

西村ますみ. 経済学雑誌を媒介とした日本のエコノミスト集団間における情報の流れ—金融雑誌を例として, p. 179-193.

Armbruster, Ludwig. Sophia University Central Library—上智大学中央図書館建設の経緯, p. 207-217.

No.24

村主朋英. Karl Popper の“客観的知識”概念とその情報学に対する意義, p. 1-10.

山中忠. 日本における図書館・情報学研究の特徴—論文の研究手法, 研究内容分析をもとにして, p. 31-44.

加々美恵理, 倉田敬子, & 上田修一. 科学情報流過程における科学報道記事, p. 113-122.

中嶋聞多. 医学・歯学・薬学分野における専門領域構造の研究—「研究者・研究課題総覧 1984年版」を用いて, p. 155-165.

No.25

大江晁. 思想史のなかの情報科学, p. 1-9.

武者小路澄子. 日本における学術図書出版点数の定量的分析, p. 65-80.

柴野麻里子, & 倉田敬子. 時系列的に見た研究者の論文発表活動, p. 93-111.

山本昭. 化学文献の翻訳における専門知識の影響, p. 157-167.

山中忠. Library and Information Science 掲載論文の傾向, p. 181-185.

No.26

武者小路澄子. 原著論文と抄録の関係における質的分析—情報の圧縮化へのアプローチ, p. 1-29.

浅井しのぶ. 日本の地名に関する参考図書の評価—内容による評価を中心として, p. 31-54.

神門典子, 岸田和明, 武者小路澄子, 稲垣幾世枝, 樋口恵子, & 上田修一. 概念の表現可能性に関するシソーラスの比較評価—図書館・情報学文献の索引付与実験を通して, p. 103-114.

- 阿部悦子. 画像工学研究者における情報伝達の実態分析, p. 127-146.
- 稲垣幾世枝. 地域の情報環境—情報アクセシビリティからみた情報格差, p. 161-180.
- 小澤三恵子. 図書館員と利用者間のノンバーバル・コミュニケーション—レファレンス・サービスの未開拓領域, p. 181-201.
- 細井加奈子. 草双紙改め制度についての一考察—草双紙「改印」の調査を通じて, p. 203-217.

No.27

- 細谷新治. シーボルトのつくった統計表を求めて—日本統計事始の一齣, p. 1-14.
- 武者小路澄子. 情報メディアの形成過程—著者抄録を中心とした質的分析, p. 15-35.
- 江上麻美, & 倉田敬子. 研究者の論文発表活動と業績評価に見られる特徴—時系列分析による調査, p. 37-53.
- 長澤祐子. 人的サービスにおける問題関心の推移—レファレンス関係文献の分析を通して, p. 87-113.
- 石原智子. サービス面から見た情報公開制度の問題点, p. 143-158.

No.28

- 中村幸雄. 一次情報発表技術の展開—特に専門情報の電子刊行に関して, p. 1-9.
- Bryant, Philip. 図書館目録—英国の現状と将来, p. 11-20.
- 新倉利江子. 大学図書館における人文科学分野の研究者を対象とした情報サービスの可能性, p. 61-80.

No.29

- 神門典子, 野末道子, 榛田倫子, 村上匡人, 谷津真理子, & 上田修一. 情報検索分野の構造—引用調査による下位領域と発展過程の分析, p. 1-19.
- 神門典子, 上田修一, & 土井彩子. 医学分野のオンライン・データベースにおける索引作業の比較評価, p. 89-109.
- 安藤由美子. 教育活動における教員の記録情報利用—中学校教員を対象に実施した質問紙調査, p. 139-160.

No.30

- 神門典子. 情報メディアの構造—伝達内容の分析と利用, p. 1-19.
- 武者小路澄子. 情報メディアの分析—評価と展望, p. 21-41.
- 下沢ゆりあ, & 倉田敬子. オンライン検索における検索戦略と検索戦術, p. 147-172.

No.31

- 福田求, 影浦峽, 専門用語辞書の「をも見よ」参照に関する調査研究—項目間の意味的關係

を手掛かりとして, p. 1-23.

神門典子. 複数領域における日本語原著論文の機能構造分析—構成要素カテゴリの自動付与, p. 25-38.

神門典子. 構成要素カテゴリを用いた情報メディアの構造の分析—言語表現に関する考察に基づく分析基準の再検討, p. 39-49.

蝦原加奈子. 引用調査による専門領域の構造と発展過程の分析—心理学「知識の表象」研究を対象として, p. 95-131.

No.32

津田良成, & 村主千賀. レビュー論文における収録文献の選択—臨床医の情報ニーズ・情報探索行動に関する3つのレビュー論文の比較, p. 1-16.

村主朋英. 情報史研究の枠組みと方法論, p. 43-64.

武者小路澄子. 科学のテキストの連鎖の過程から捉えた科学情報の伝達—その研究枠組みの考察, p. 65-83.

村主千賀. 表現行為を分析するための枠組みの検討—情報メディア形成過程に関する一観点として, p. 85-103.

岡野純子. 絵本と年齢—ディック・ブルーナを中心に, p. 123-140.

渡邊智山. 価値観の生成過程に関わる問題点—知識の活性化と感情との関連を中心に, p. 141-162.

No.33

柏木美穂. Brookes の〈基本方程式〉と「情報」概念, p. 1-18.

陳健宏. 中国図書館学に対する外国の影響—外国文献翻訳の数量的分析, p. 19-38.

廣田とし子, & 上田修一, 大学図書館における電子情報源の利用者教育調査, p. 83-98.

No.34

志茂由季子. ニュース映像データベースの索引と検索, p. 17-28.

Kim, Pan Koo. An automatic indexing of compound words based on mutual information for Korean text retrieval, p. 29-38.

金宣伶. 検索戦略・検索戦術・Moves, p. 39-44.

No.35

村主千賀, & 津田良成. レビュー論文にみる知識の蓄積と統合—「臨床医の情報ニーズ・情報探索行動」に関するレビューの調査に基づいて, p. 1-40.

No.36

秋山佳子. 画像認知の枠組みを利用した絵画データベースの索引, p. 23-44.

高島寧. インターネットにおける情報の関連性に関する考察—Vannever Bush の memex との比較, p. 45-50.

櫻木貴子. 我が国の高等教育機関における「情報」という語の意味とその変遷, p. 51-62.

No.37

穴戸奈美. 大学図書館における OPAC 利用者の探索行動—学生を対象としたインタビュー調査, p. 35-53.

風間智子. 日本の公共図書館における高齢者サービスの現状と展望—設置母体と高齢化率による比較, p. 55-70.